

(第7回 情報システム学会 全国大会・研究発表大会)  
ベストプレゼンテーション賞 受賞の言葉

慶應義塾大学大学院・理工学研究科・開放環境科学専攻  
飯島研究室・修士課程1年 八島敬暁

この度は「ベストプレゼンテーション賞」という荣誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。情報システム学会関係者の皆様に心よりお礼申し上げたいと存じます。

今回、「建造物の設計図情報と広域の地理情報を活用したマルチエージェントシミュレーション環境の構築」という題目で発表させていただきました。質疑応答を通して、多くのご助言をいただくことができ、自身の研究を更に深める手立てとすることができました。まことにありがとうございました。特に、ケーススタディで取り上げさせていただいた災害分野での利用事例については多くのコメントをいただきました。この点について、自身の研究は社会的意義のある必要なものであると勝手ながら感じました。ぜひとも研究を成し遂げたいと改めて強く決意した次第です。

この発表を通じ、人のために研究をしているという意識を持つことの大切さを改めて感じることができました。私は研究に没頭していると、特に眼前の課題の解決に注意が向いてしまい、大局的な視点・利用者の視点を見失ってしまいがちでした。しかし、それでは自分だけが意味があると思っている自分のためのシステム構築になってしまいます。発表を振り返ってみると自分のしてきたことは自分のための研究であったと感じました。基本的なことではありますが、人のために、人のことを考えながら研究に取り組むことが大事であると思います。自分のための情報システムを人のための情報システムにするために、今回頂戴することができたコメントを研究に反映していきたいと存じます。

最後に、繰り返しになりますが発表の機会と研究へのアドバイスを与えて下さった情報システム学会関係者の皆様、先生方に深く感謝の意を表したいと存じます。ありがとうございました。